

三菱地所グループ 北陸初の分譲マンション事業 「ザ・パークハウス 金沢城公園」 始動 モデルルームグランドオープン

三菱地所レジデンス株式会社は、石川県金沢市下堤町で開発を進めている「ザ・パークハウス 金沢城公園」のモデルルームを6月3日(土)にグランドオープンしました。

三菱地所グループでは1991年に竣工した金沢パークビルの開発をはじめ、北國銀行新本店ビル・NHK新金沢放送会館の設計・監理など金沢市内で数多くの事業に関わってきました。2015年の北陸新幹線開通によって、商業施設等の開発が進行し、ビジネス・観光の拠点として注目が高まるとともに、人口・世帯数も増加している金沢市において、今般、三菱地所グループ北陸初の分譲マンション事業として「ザ・パークハウス」を冠するマンションを開発します。

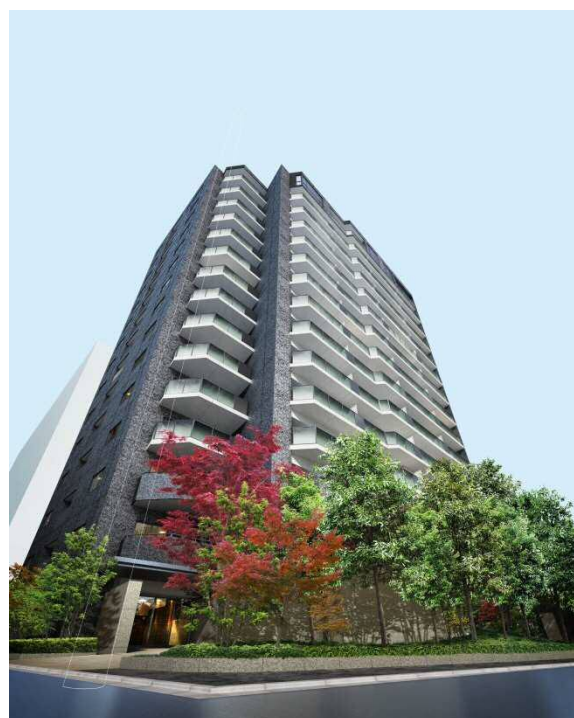
「ザ・パークハウス 金沢城公園」は、加賀百万石の城下町として発展してきた金沢市武蔵ヶ辻エリアに位置し、金沢文化発祥の中心地ともいえる「金沢城公園」を望む場所、北國銀行が70年の永きに渡って本店として営業した地に誕生します。「金沢」駅から徒歩16分、金沢城公園や兼六園などの史跡、近江町市場、めいてつエムザ等商業施設も徒歩圏内です。

地上15階建て、金沢の街並みを意識した外観デザインとしました。外壁は、専門の職人が丁寧に塗り重ねて完成させる職人塗装とし、エントランス内の壁や外壁の一部には、石職人が丹念に削り出して創り出す「のこびき細工」によって美しい陰影を見せる天然石を使用しています。珍しい外装材を選定し、金沢建築の特徴のひとつである露地などを再現しています。

住戸は2LDK(69.70㎡)～3LDK(154.36㎡)と豊富なプランバリエーションを取り揃えています。オール電化を採用、デイスポーターや食器洗い乾燥機、浄水器一体型水栓、リビング・ダイニングには床暖房を標準装備とし、新聞の戸別配達サービスも導入します。

省エネに配慮し、空気の熱を利用して、給湯に必要なエネルギーをつくるヒートポンプシステム「エコキュート」を採用。地域性を考慮し、融雪装置やタイヤ置き場も導入しています。

また、ハード・ソフト両面での防災対策も備えています。共用部には防災備蓄倉庫を設置し、備品を準備するほか、お引き渡し後は「防災計画書」のご提案をする等、三菱地所レジデンスの高品質・高付加価値な住まいを提供します。



▲外観完成予想CG

2016年12月20日の物件ホームページ開設以降、550件超のお問い合わせと高い関心をいただいております、7月中旬に販売を開始する予定です。

1. 「ザ・パークハウス 金沢城公園」の特徴

■北陸新幹線開通により魅力が高まるエリアに位置し、恵まれた住環境

2015年3月の北陸新幹線開通に伴い、ビジネス・観光の拠点として注目が高まる金沢市。本物件の建設地は、古くから交通の要所である武蔵ヶ辻交差点からほど近く、北國銀行が本店を構えた地です。最寄りの「武蔵ヶ辻」バス停には36路線ものバスが乗り入れ、金沢市内へ縦横無尽にアクセスが可能です。

金沢城公園や兼六園などの史跡や、近江町市場、めいてつエムザ等生活利便性の高い商業施設も徒歩圏内、さらに香林坊・片町の繁華街やビジネス街へも徒歩で往来できます。現地は百万石通りから一本入った通り沿いで、大通り特有の喧騒から解放された恵まれた住環境です。



- 金沢城公園／徒歩5分
 - 尾山神社／徒歩5分
 - めいてつエムザ／徒歩3分
 - 近江町いちば館／徒歩3分
 - 金沢市役所／徒歩13分
- 等



▲北國銀行 旧本店ビル

本物件東側方面には、金沢城公園の広大な緑が広がり、上層階住戸からは公園内の様々な植物が織りなす四季折々の情景を感じることができます。



▲現地14階相当からの眺望

■歴史と伝統を継承、デザインコンセプトは「永続する魅力との調和」

金沢文化発祥の地として歴史と伝統、金沢城公園の広大な緑等、この土地ならではのエレメントを反映しながら金沢に息づく先進性を本物件のデザインに込めました。

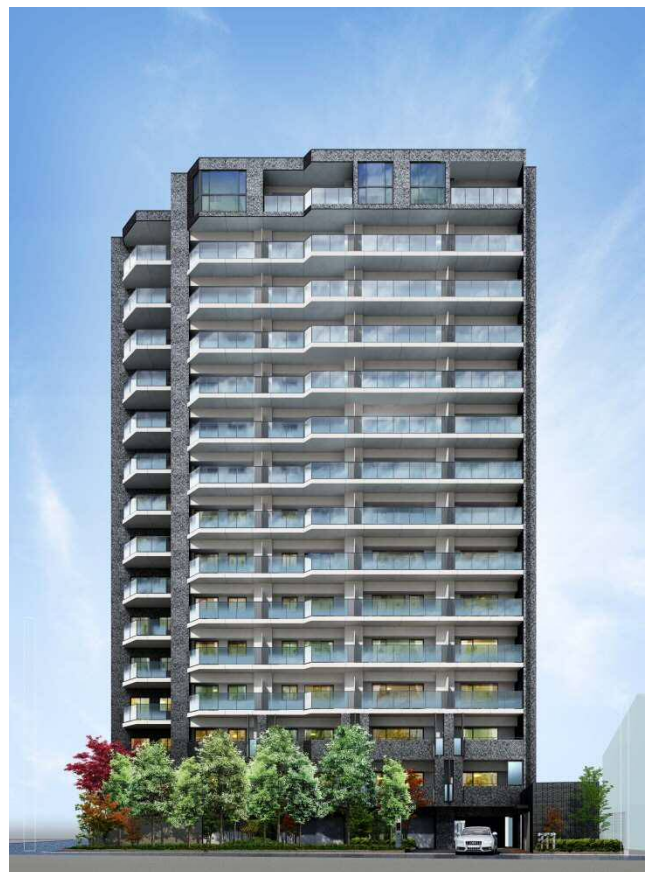
外壁は専門の職人が丁寧に塗り重ねて完成させる職人塗装とし、周辺の風景に自然と溶け込む色調を採用。エントランス内の壁や外壁の一部には、石職人が丹念に削り出して創り出す「のこびき細工」によって美しい陰影を見せる天然石を使用しています。



▲外壁イメージ



▲のこびき細工の石



▲外観完成予想CG

ランドスケープデザインは金沢城公園をイメージし、敷地外周に豊かな植栽を設えることによって、近くを通る人が思わず深呼吸をしたくなるような、緑豊かな空間の創造を目指しました。

■省エネ・快適性を追求した住空間

安心で快適、環境にも配慮したオール電化システムを採用。電気は地震等の災害時に、停止したライフラインの中でも相対的に早期に復旧が可能だと言われています。また、災害時には貯湯タンク内に蓄えられた湯水を生活用水として使用することができます。

省エネに配慮し、空気の利用して、給湯に必要なエネルギーをつくるヒートポンプシステム「エコキュート」を採用しました。

キッチンには調理時に出た生ごみを粉碎処理し衛生的でゴミの減量にもつながるディスポーザー、少量・高温のお湯で循環洗浄することで汚れを落とす食器洗い洗浄機等、保温浴槽、節水型シャワー水栓等、環境に配慮した設備のほか、浄水器一体型水栓、浴室換気乾燥機、玄関に人感センサー付き照明、玄関ドアと窓にはセキュリティの開閉センサー、洋室にルーバー面格子等を標準装備としています。

リビング・ダイニングの床には温水を循環させる給湯式床暖房を採用、温風によってハウスダスト等が舞い上がらないクリーンな暖房設備です。

共用部には、地域性を考慮し、融雪装置やタイヤ置き場も導入しています。



▲ディスポーザー



▲食器洗い洗浄機

■2LDK(69.70㎡)～3LDK(154.36㎡)と豊富なプランバリエーション

A_{type}
2LDK+WIC

専有面積：69.7㎡

H_{type}
3LDK+WIC+TR

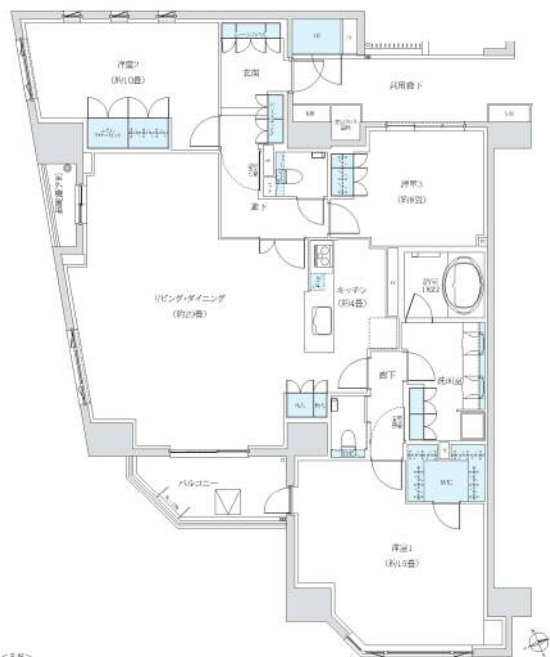
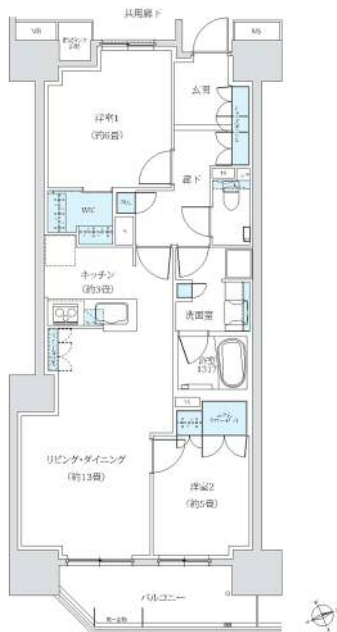
専有面積：154.36㎡

コンパクトながら十分な居住性を確保した2LDKタイプ。

各居室の窓が開口部に面し、自然の風や光が入ります。单身の方からファミリーまで、幅広いお客様にお勧めできる住戸です。

最上階南東角に位置し、バルコニーや約15.7畳の洋室1からは金沢城公園が一望できます。

約29.4畳のリビング・ダイニング、18×22の大型バス、ツーボールの洗面化粧台、来客用とプライベート用を分けたトイレ等、特別の設えを施した一邸です。



▲モデルルーム写真 (Dタイプ・メニュー1、81.13㎡)

■災害時の活動を想定した防災備品の備蓄

共用部に防災備蓄倉庫を設置し、発電機・マンホールトイレセット等を備蓄。各戸には防災マニュアルのほか、手動で発電できるダイナモラジオライト等が入った防災バックを配布します。

共用部 防災備蓄倉庫	各戸配布の防災バック
発電機、LED 投光器、簡易無線機、マンホールトイレ、ウォータータンク、救助工具セット、ライティングシート、応急処置セット、トイレ処理セット等	ダイナモラジオライト、ホイッスル、ウォータータンク、簡易トイレ等



▲LED投光器



▲簡易無線機



▲マンホールトイレ



▲ウォータータンク



▲防災バック



▲ダイナモラジオライト



▲簡易トイレ

■三菱地所グループ 北陸初の分譲マンション事業

三菱地所グループでは、金沢駅前に立地する「金沢パークビル」の開発をはじめ、北國銀行新本店ビル・NHK新金沢放送会館の設計・監理などに携わっており、本物件が初めての分譲マンション事業となります。



▲金沢パークビル (1991年竣工)

2. 「ザ・パークハウス 金沢城公園」物件概要

所在地：石川県金沢市下堤町1番2, 下松原町31番1 (地番)

交通：北陸新幹線「金沢」駅徒歩16分

敷地面積：1,085.86㎡

構造・規模：鉄筋コンクリート造・地上15階地下1階建

総戸数：68戸 (事業協力者住戸9戸を含む)

住戸面積：69.70㎡～154.36㎡

間取り：2LDK・3LDK

販売価格：未定

駐車場台数：69台 (附置率101%)

売主：三菱地所レジデンス株式会社

施工：株式会社熊谷組

管理：管理組合成立後、三菱地所コミュニティ株式会社に管理委託予定

竣工：2018年8月下旬予定

引渡：2018年10月下旬予定

販売スケジュール：2016年12月20日 ホームページ開設

2017年 6月 3日 モデルルームグランドオープン

7月中旬 第一期販売開始 (予定)

3. お客様からのお問い合わせ先

「ザ・パークハウス 金沢城公園」レジデンスギャラリー

電話番号：0120-320-708

営業時間：10:00～18:00(水・木曜日定休、祝日を除く)

H P：<http://www.mecsumai.com/tph-kanazawa/>



▲現地・レジデンスギャラリー案内図

以上